

〈算数科〉 2年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・数についての知識、理解度は高い。しかし、時刻と時間における知識、理解度が十分でない。
- ・ $1\text{ cm}=10\text{ mm}$ など、単位の換算についての理解が不十分な児童がいる。
- ・計算においては、おおよその児童が理解できている。
- ・点と点を結ぶ直線を引く時に、まっすぐで正しい長さの直線を引けない児童がいる。
- ・ mm など、細かい単位の測定が苦手な児童がいる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・問題文を正しく読んで立式することや、問題文を作ることができないことがある。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・教科書やワークテストの発展的な問題にも積極的に取り組む児童が多い。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・時刻と時間の学習の理解を深めること。
- ・時刻や長さ、水のかさなどの理解を深めること。
- ・ mm などの細かい長さを測ったりかいたりする技能の向上。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・文章題の内容を正しく読み取れるようにすること。
- ・文章題の内容から、立式できるようにすること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・多くの児童が関心を持って学習に取り組める、活動内容の充実させること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・時刻や時間については、定着を図るため、日常の機会あるごとに取り上げ、慣れ親しむようにするとともに、家庭にも呼びかける。一斉授業で理解が困難な児童については、時計の模型を使うなどして個別に指導していく。
- ・長さや水のかさなどの量的な単位については、単用量（ $1\text{ cm}\cdot 1\text{ mm}\cdot 1\text{ dL}\cdot 1\text{ L}$ など）がどの程度のものなのかを身近なものを使って確認していく。また、測定の活動を重視し、量感を養いながら理解を深められるようにする。
- ・朝のスキルアップや授業において、計算の反復練習や長さを測ったりかいたりする時間を確保し計算力・技能を高めるようにする。
- ・長さについては、日常の生活で、機会あるごとに取り上げ、単位や数値に慣れさせる指導をしていく。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・たし算やひき算の場面をよりイメージできるよう、教材や資料の工夫し視覚化する。
- ・自分の考えを絵・図を用いたり、言葉でかいたり説明したりできるような機会をもたせるように設定する。
- ・文章題では、増える、減る、比べるなどの違いを感じ取らせ、「なくなると」「どちらがどれだけ」などのキーワードに着目させ、そこから考え立式できるような指導をする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・わかる楽しい授業を展開していく。そのために、教材を吟味し、提示方法や使い方の工夫をし、興味関心もてるような授業をする。